

2012年11月26日

九州アントレプレナークラブファンド

投資実行のお知らせ

第一号投資として地元ベンチャー2社へ投資

「株式会社イー・エル・テクノ」「株式会社リーボ」に投資実行

株式会社ドーガン・インベストメンツ（本社：福岡県 代表取締役 森 大介）は、当社が運営を行い、西日本シティ銀行、十八銀行、豊和銀行、筑邦銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）が出資をしております「九州アントレプレナークラブ投資事業有限責任組合」（略称：九州アントレファンド）を通じ、株式会社イー・エル・テクノ（本社：福岡市 代表取締役 豆野和延 以下、「ELテクノ」）に対して10,000千円の投資を、また、株式会社リーボ（本社：福岡市 代表取締役 松尾 龍馬 以下、「リーボ」）に対して20,000千円の投資をそれぞれ実行いたしました。本件投資は九州アントレファンドの投資第1弾となります。



ELテクノは、本社を福岡市に本社を置く技術開発型ベンチャー企業です。2010年の会社設立以降、豆野社長をはじめとして大手電機メーカー出身の研究者が結集し、総勢14名で有機EL照明の研究および製造を行っています。経済産業省の低炭素補助金や国内の事業会社・ベンチャーキャピタル等からの資金調達により2012年3月には、熊本県合志市にて製造工場を稼働させております。今回の九州アントレファンドからの出資資金については、さらなる研究開発や、今後の量産開始に向けたマーケティング活動のために活用いただきます。

リーボは、2011年7月に福岡市で設立されたシード・アーリー期のベンチャー企業です。次世代の交通インフラとして注目される、1~2人乗りの超小型電気自動車を活用したカーシェアリングのシステムに強みを持っています。従業員は5名の会社ではありますが、大手自動車メーカー出身の松尾社長の経験を活かして、スピード感のある事業展開を行っており、設立2年目ながら、地方公共団体等の実証実験にリーボのサービスが採用されるなど、大きく成長する可能性を秘めた企業です。リーボへの投資においては、海外のシード投資で活発に活用されているコンバーチブル・ノートを擬似的に行えるようなスキームでの投資を行っており、これは九州アントレファンドにおけるシード投資のモデルケースとなっています。この投資をきっかけに、リーボは本ファンドの活動拠点でもある九州アントレプレナークラブ“OnRAMP”へ入居し、弊社からはリーボへ社外取締役・監査役を派遣するなど、徹底的なハンズオン支援を行う所存です。

【投資先企業について】

会社名	株式会社イー・エル・テクノ
所在地	福岡市早良区百道浜 3-8-33 (福岡システム LSI センター 7F)
代表者	豆野 和延
事業内容	有機 EL 照明パネルの製造販売
資本金	512 百万円
URL	http://www.el-techno.co.jp/ (準備中)

会社名	株式会社リーボ
所在地	福岡市中央区天神 1 丁目 10-24 九州アントレプレナークラブ OnRAMP 内
代表者	松尾 龍馬
事業内容	超小型 EV 向けの、スマートフォンを使うカーシェアリングシステムの開発・販売、運用。
資本金	1.5 百万円
URL	http://reevo.jp/

【「九州アントレプレナークラブ投資事業有限責任組合」概要】

ファンド総額	約 11 億円
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
無限責任組合員	・ ドーガン・インベストメンツ http://www.dogan.jp
有限責任組合員	・ 中小企業基盤整備機構 http://www.smrj.go.jp ・ 十八銀行 http://www.18bank.co.jp ・ 筑邦銀行 http://www.chikugin.co.jp ・ 西日本シティ銀行 http://www.ncbank.co.jp ・ 豊和銀行 http://www.howabank.co.jp
投資対象	九州圏内（九州各県・山口県・沖縄県）に主な拠点があり、優れたアイデアや技術・ノウハウ・ビジョンをもって新商品の開発、新事業展開にチャレンジするベンチャー、中小企業 (業種・業歴不問)
主な投資形態	・ 株式（普通株・優先株） ・ 新株予約権付社債等 ・ その他投資有価証券 など
組合の存続期間	10 年（但し、2 年を限度に延長可）

・この件に関するお問い合わせ

(株)ドーガン・インベストメンツ <http://www.dogan.jp>

〒810-0041 福岡市中央区大名 2 丁目 4 番 22 号

TEL : 092-739-2311 (担当 : 林) FAX : 092-739-2317 E-mail: hayashi@dogan.jp